

加美町災害対策本部だより(4月8日号)

# 復旧・復興に向けて全力投球

## 南三陸町から加美町へ集団避難

町では、3月11日の地震後、直ちに災害対策本部を立ち上げ、これまで復旧・復興に向けて全力で取り組んできました。町のライフラインがいち早く復旧したこともあり、壊滅的な被害を受けた沿岸部の避難者の受け入れを開始。4月3日には、佐藤町長自らバスに乗車し、南三陸町の避難者を迎えに現地まで足を運ぶなど積極的に救援活動を展開しています。



加美町からの迎えのバスの中、南三陸町長から佐藤町長に住民を託される

3月11日発生の大地震から間もなくひと月、町の復旧にも目途が立ち、普段の生活に戻りつつある中、復興への歩みを止めることなく、沿岸部の集団避難者の受け入れを始めました。今回の地震で沿岸部の壊滅的な状況を早くから視察した佐藤町長は、沿岸部の被災者を受け入れるため、中新田交流センターの環境整備にいち早く着手しました。4月3日、南三陸町から二次避難場所として希望した加美町、登米市、栗原市、大崎市へと、各自自治体の迎えのバスに乗り集団避難が行われました。これまでに中新田公民館で避難生活をしてきた石巻市、女川町、南相馬市の20人と、今回避難された南三陸町の21人を合わせた41人が中新田交流センターに到着。佐藤町長を始め、職員やスタッフなどから歓迎を受けました。

### 加美町の受入人数

避難所：中新田交流センター

石巻市	6人
女川町	5人
南相馬市	9人
南三陸町	26人
避難者合計	46人

【4月6日現在】

## 加美町は皆さんを全力でサポートします

4月3日、避難先となる中新田交流センターに避難者41人を迎え入れました。

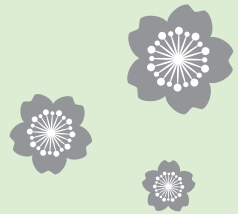
佐藤町長は「心身ともにリフレッシュして、次のことを考えるためにもゆっくりお過ごしください」と歓迎。その後、町の保健師と栄養士から「健康面や栄養面は私たちにまかせてください」、社会福祉協議会からは「お金のことや生活のことなどいろんな相談をしてください」と力強い言葉と一緒に、職員やスタッフの自己紹介が行われました。

夕食時には、歓迎の「ちらしずし」が振る舞われ手づくりの味に「すごくおいしい」と語って一口ずつ味わっていました。

食事の仕度には、ボランティア友の会、JA加美よつば女性部、加美商工会女性部、加美町婦人防火クラブ連合会の皆さんのご協力をいただいています。



温かい歓迎に安堵する避難者



中新田交流センター食堂で歓迎の夕食を囲む

## ◆復旧状況

地震直後、道路や下水道の復旧作業で通行止めとなっておりご不便をかけていましたが、加美町は他の地域に先駆けてこれらのライフラインの復旧が進み、町民生活の安全安心回復につながりました。

### ▼町道

3/17、平柳下新田線（五輪橋取付部）が仮復旧し、全面開通。

4/10から別所焼切原、柳沢焼切原線が片側通行可能。

### ▼交通

住民バスの臨時ダイヤで運行。

4/4から更に便数を回復させ運行中。デマンドバスも運行開始しました。利用の際は予約が必要です。

**問** 住民バスセンター ☎64-4120

## 災害復旧支援相談窓口を設置

東日本大震災の復旧支援のため、相談窓口を保健福祉課内に設置しました。災害復旧支援相談員は、高橋行雄さん（上狼塚北）、早坂忠幸さん（東鹿原）の2人です。

町内の被災者や町外から避難している被災者の相談、ボランティアや救援物資等に関することなどを4月6日から受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

**相談日時** 毎日（土・日・祝日含む）  
午前9時～午後5時まで

**問** 保健福祉課内 ☎63-8051

## 哀悼の意にご協力を

震災から1か月、多くの方々から犠牲者のご冥福をお祈りしたいという声が寄せられ、災害対策本部では、4月11日に、黙とうを捧げることにしました。

未曾有の大震災に対し、被災された方々への支援、被災地の復興などに町民一人ひとりの思いを一つにし、全力を挙げて取り組んでいきたいと思っております。町民の皆様にもそれぞれの場所でご協力をお願いします。

**日時** 平成23年4月11日(月)  
午後2時46分

## ◆数々の支援に感謝

町との災害協定等に基づき、多くの団体・企業から食料品、生活用品など様々な物資を提供いただいています。（下記は提供された物資の一部です。このほか、個人からも多数支援をいただいております。（順不同、敬称略。4月5日現在）

これらの物資は、避難された方々への救援に活用させていただきました。

- 山形市消防団 …… ミルク、おむつ等
- 丸か建設 …… ガソリン等
- ダイナム宮城加美店 …… 乾パン、缶ジュース等
- 明治牛乳加美宅配センター …… 牛乳、ジュース等
- やくらい振興公社 …… 米（精米済）等
- 加美パルコ …… ラスク等
- 花袋天王 …… おにぎり等
- 原会館 …… おにぎり等
- 加美町社会福祉協議会 …… おにぎり等
- やくらい山葵生産組合 …… しそ巻き、ワサビ浅漬等
- 宮崎もち加工組合 …… おふかし等



史的友好都市の山形市長（右側）が激励



山形市消防団から救援物資を届けていただきました

## ◆被災地への支援活動状況

▼3/17、町の給水車1台と、やくらい地ビールの給水車1台が富谷町へ給水活動実施。やくらい地ビールの給水車は現在も貸出中。

▼3/22、女川町へ水、トイレトペーパーなど2トン車1台とワゴン車1台分の救援物資を運搬。

▼3/28から、南三陸町で救援物資の仕分け作業に毎日10人派遣。町職員2人、J A職員2人、社会福祉協議会職員2人、ボランティア4人の計10人が南三陸町のベイサイドアリーナで、全国から届けられる大量の救援物資の仕分け作業に汗を流しています。

▼3/29、七ヶ浜町へネギやハウレンソウなど2トン車2台分の救援物資を運搬。



南三陸町で救援物資の仕分けボランティアを実施